

9. 11追悼タワーラン(1) 9/11 Remembrance Tower Run

September 13, 2019

By Machiko Arita
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)9月11日、横田基地で行われた「9. 11タワーラン」の開会式で、言葉を述べる第374空輸航空団司令官オーティス・ジョーンズ大佐。タワーランは、2001年9月11日のテロで殉職した初動対応隊員を追悼する目的で、第374施設中隊横田消防署が主催した。



1

(写真2)「9. 11タワーラン」の式典で、黙とうを捧げる空兵たち。

この日、計124人から構成される31チームがタワーランに参加し、2001年9月11日のテロで殉職した初動対応隊員の名譽を称えた。



2

(写真3)タワーランを前に、チームで写真を撮る第374施設中隊横田消防署のメンバーたち。

走者はみな、約30ポンド(約13. 6キロ)の重量がある自給式呼吸装置エアパックを着用して挑んだ。



3

9. 11 追悼タワーラン(2) 9/11 Remembrance Tower Run

September 13, 2019

By Machiko Arita
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1) バトン・ゾーンでチームメイトとハイタッチを交わす第374運用支援中隊副官デイビッド・フォックス大尉。

このタワーランは、4人1組でリレー式に階段を駆けて上り下りしゴールのタイムを競うもので、一人ずつ30ポンド(約13.6キロ)の重量がある自給式呼吸器装置エアパックを着用して9階までの階段を3往復するもの。最終的にそれぞれのチームが、9.11のテロ発生時に消防・救急隊員が駆け上がったワールドトレードセンターの高さに相当する計110階を上ったことになる。



1

(写真2) タワーを駆け上がる第374施設中隊ロジスティック担当下士官主任ディラン・ミック軍曹。

ミック軍曹は横田消防署所属で、今回のイベントを調整したメンバーのうちの一人。



2

(写真3) 消防士のヘルメットの中にドッグタグ(個人認識票)を入れる地元の消防士。

走者たちは、2001年9月11日にニューヨークで発生したテロで殉職した初動対応隊員たちの名前が刻まれたドッグタグを持って参加した。



3